

梅雨に入った。雨降りの登下校は、子どものテンションも低い。お気に入りの傘と長靴とカッパの出番！とか、ワックスをかけた車につく小さな水の粒が楽しみ！などという大人も少ない▼ランドセルはカラフルになったが、最近の傘は、部分的に透明になっていたり、前が見えるようになっていたり、ランドセルを覆うように後ろのつばが広い傘があったりしてたのしい。しかし、その機能の意味を理解していない子どもがたくさんいる。そんなことをお家の人が聞いたらかなしいかもしれない▼子どもたちの下校が完了したところに昇降口をのぞいてみたら、ある一点に視線がいった。2年生の傘立だけが、整然と美しく並べられていたのだ。なぜそうになっているのか担任の先生に質問に行くと、整理整頓係さんのお仕事だと聞いた▼2年生には、お掃除係という係もある。阿下喜小学校は、月曜日と水曜日は「あじさい日課」という時程を組んでいて、1限目が8時30分から始まり、掃除がない。お掃除係はそんな掃除のない日に活躍すると聞いた▼去年の5年生の美化委員会が取り組んでくれていたお掃除大作戦を思い出す。勇気の連鎖かもしれない▼4年生も何かしていた。給食室の前にポスターが貼ってあった「残さず食べよう。」そのポスターが貼られてから残食が減ったと聞く。「すべては阿下喜小学校のために」子どもの勇気の連鎖に裏表はない。